

(目的) 個室における収納空間計画の基礎資料を得ることを目的とし、これまで収納スペースの現状—その1—、衣類の所有状況とその収納実態—その2—について報告した。その結果、所有衣類が自室にある収納スペースに収納されずに置かれている(あふれている状況)、また他室に収納されている(他室にあふれている)という収納状況のものが多かった。本編では、これらの収納状況を生み出す要因を見いだすことに焦点をあてる。

(調査対象・方法) その1、2と同様である。

(結果) 1 自室にあふれているものとあふれていないものとの比較：あふれているものの方が衣類収納家具の個数、容積ともに少ない。しかし部屋面積はあふれているものの方が広い。2 他室に衣類があふれているものとあふれていないものの比較：他室にあふれているものの方が、衣類収納家具の所有個数が多い。しかしその容積は小さいにもかかわらず、所有衣類品目数は多くなっている。3 部屋面積の大小による比較：部屋の面積が広いほど自室にあふれているものの割合が多くなる。4 衣類収納家具の個数及び容積：個数が多いほど、また容積が大きいほど他室あふれているもの、自室に衣類があふれているものの割合は減少する。5 押入の有無：押入が自室にあるものの方が他室にあふれているもの、自室にあふれているものの割合はともに少ない。6 衣類の所有品目数の多少：衣類の所有品目数が多いほど、自室にあふれているもの、他室にあふれているものの割合が多いとは限らない。7 衣類収納に対する考え方：不用な衣類を処分しながら収納しているとすると、自室にあふれているものの割合及び所有品目数が多くなっている。